

平成 27 年度の事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 NPO サポート・しみず

1 事業の成果

これまでの成果を活かし、中間支援組織として市民活動センターの指定管理を始め、人材育成事業等をおこなった。また、研修や事業を通じ、職員の一層のスキルアップをはかることができた。

さらに、様々な活動経験を持つ会員で構成されている団体の強みを活かした自主講座は、センター利用者や他団体も巻き込んで実施することができた。

(1) 清水市民活動センターの指定管理事業

①商工会議所や企業との連携

静岡商工会議所と共催で「NPO と企業の協働セミナー」開催をきっかけに、NPO と企業の協働がいくつか実現した。また、企業へ働きかけたことによって、センターや市民活動の認知度が上がった。

②センター9周年事業の成功

実行委員会とともに準備をすすめて、新たな企画を加えて一層の盛り上がりを見せた。団体と団体がつながる良い機会としても定着してきた。

③事業を通じた支援の成果

センターからの情報により助成金に応募し獲得することができた、という報告がいくつも寄せられ、情報発信が役立っていることを実感した。

利用団体を想定し情報を精査して発信し、申請書作成についてもサポートするなどきめ細かな対応が成果につながった。

利用団体アンケートによれば、助成金だけでなく、「センターを利用することで、自団体に良い変化があった」と答えた団体が全体の 62%と昨年より更に向上した。

センターのサポートが一定の役割を果たしていることが実感でき、これまでの事業運営に確信を持つことができた。

④学生のコミュニティ参加に関するシンポジウムへの協力

主催：静岡県立大学

市民活動センターの利用団体にも呼びかけ、参加することができた。大学との初めての協働事業となった。

(2) 委託事業の成果

会員の協力により静岡県の委託事業を行うことができた。連続の受託は、企画、集客、運営全般にわたる委託側の信頼や評価に裏付けられるものである。

また、27 年度は新たに清水区地域総務課からの委託事業も実施し、担当課や地域との関係性を強めることができた。

(3) 人材育成事業の実施

会員の協力により団体主催で 2 回実施した。

市の制度を活用して他団体と協働で講座企画したり、学びを即実践する形態にするといった工夫により、参加者も広がった。

- (4) 他のセクターとの協働を推進する事業
NPO法人フードバンクふじのくにに参加し、活動をさらに進めるため、フードドライブへの協力、広報支援などの役割を果たした。
- (5) NPO 法人会計基準協議会の「活動計算書普及調査」協力
静岡市認証のNPO 法人を対象に調査を実施し、実態を把握することができた。
- (6) 市長とのお茶カフェトークの実施
静岡市広報課主催。市長と直接対話することで、中間支援施設の在り方や、会員の関わっている様々な事業の現状などを伝え、意見交換ができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 市民活動をサポートする事業	・ 市民活動へのサポートの事業を行う。			
①-1 清水市民活動センター指定管理事業	・ 清水市民活動センターの指定管理事業 ・ 徴収事務委託事業	(A) 4月1日～翌3月31日 (B) 清水市民活動センター (C) 7人	(D) 市民団体・NPO法人・一般市民 (E) 17,375人	20,568
①-2 人材育成・研修事業	1. 市民活動団体の人材育成講座(センターとの共催を2回)	(A) 年に2回 (B) 清水市民活動センター (C) 4人	(D) 市民活動団体の代表や事務局、当団体の会員 (E) 10人×2回	10
	2. 防犯まちづくり専門講座	(A) 年に3回 (B) 清水市民活動センター (C) 6人×3回	(D) 一般市民 (E) 30人×3回	682
	3. 協働の底力事業	(A) 7月～3月末 (B) 静岡労政会館ほか (C) 6人	(D) NPO法人、一般市民、学生、行政職員 (E) 延べ600人	2,912
	4. 会計サポート	(A) 4月1日～翌3月31日 (B) 清水市民活動センター (C) 1人	(D) NPO法人、 (E) 4団体	113

	5. ふじのくに NPO 基金 防災体験事業	(A) イベントは 10 月 18 日 (B) 西奈南小学校 (C) 10 人	(D) 西奈南小学校校区の 児童と親 (E) 100 人	306
② 市民団体と他の セクターとの 協働を推進 する事業	・地域の課題解決のため、協働で 実施する。 1. フードバンクふじのくにに 参加 設立 1 周年記念フォーラム 他、フードドライブに協力	(A) 4 月 1 日～翌 3 月 31 日 フォーラムは 5 月 19 日 (B) 静岡県内 (C) 4 人	(D) 生活困窮者 (E) 多数	会費 10
	2. 清水区まちづくり協働会議	(A) 7 月 1 日～翌 3 月 31 日 (B) 堂林自治会館ほか (C) 3 人	(D) 堂林自治会 (E) 350 人	354
③ -1 会員研 修・交流事業	1. 会員の研修 上記人材育成講座に会員・職員も 参加	(A) 4 月 1 日～翌 3 月 31 日 (B) 清水市民活動セン ター (C) 延べ 23 人	(D) 職員と会員 (E) センター等 の研修	
	2. 相互の交流を行う 会員の活動経験を活かした交流 事業をおこなう。総会後の交流 など	(A) 総会後の交流など (B) 清水市民活動セン ター (C) 4 人		
	4. 会員の自主的な提案事業	実施せず		
③ -2 広報事業	・団体の広報事業 ホームページ ニューズレター発行 リーフレット発行 実施せず	(A) 4 月 1 日～翌 3 月 31 日 (B) 清水市民活動セン ター (C) 3 人	(D) 一般市民 (E) 多数	3
その他	市長とお茶カフェトーク 主催：静岡市広報課	(A) 12 月 12 日 (B) 清水市民活動セン ター (C) 9 人	(D) 会員 (E) 多数	